



総会風景

平成七年度 総会・講演会開く

平成七年度・松桜会総会は、五月二十日(土)午後一時から、母校視聴覚室を会場に約五百十人が集まり開催されました。

開会のことはあと、理事長、吉川校長が挨拶、ついで生徒会への助成金贈呈式、事業報告などがあり、校歌斉唱で閉会しました。一時三十分からは第一部に移り、評論家の桐島洋子さん(駒8)を迎えて、「過去・現在・未来」の演題での講演会行われました。「私はいま林住期です」と切り出し、人生を春夏秋冬の四つの季節に分けて説明、人生五十年が十年になった今日の生き方をアナログの時計にたとえた興味深い話し。恋・愛・情・潮に変化する愛の方程式、ボランティアやカルチャーでアクションを見つける方法、友情を維持するためのホームパーティーのすすめとつづき、最後に駒場から文芸春秋に入り未婚の母になった多彩な自分史など盛り込んだ約二時間の講演は、聴衆を魅了しました。

いくつかの質疑応答のあと、会場を二階の会議室に移し、桐島さんを中心とした懇親会がなごやかな雰囲気で行われ、四時すぎ卒年別に記念撮影をして散会しました。中心テーマとなった林住期の要旨を二面に紹介しました。



第57号
発行会 松桜会
発行日 1995年9月1日
発行所 駒場松桜会
〒153 東京都目黒区
大塚2-18-1
都立駒場高校
電話 03-3466-7579
電報 番号
00190-8-28486

駒場松桜会の“総会” その在り方を考える

松桜会では年一回通常5月に、総会を開催してきています。総会では予算決算や事業計画の報告、母校生徒会への助成金の贈呈、母校校長の講話などが行われてい

ます。総会の在り方は少しずつ変化してきており、著名な卒業生の講演をいれたり、立食パーティーなどが併催される年もあります。いづれにしても、主催する役員の方々には出席者の確保にいろいろと知恵を絞らねばならないのが総会開催時の苦勞でもあります。どの学校の同窓会でも総会というものはクラス会や同期会と違って、いろいろな卒年の方々が一堂に集まる、母校愛を確かめ合う、場でありま

す。それに加えて男子校の場合は日頃会うことの出来ない各界で活躍している人々との接触の機会でもあるように。さて、ここで財団法人駒場松桜会の規約を参照しては総会ほどのような位置づけになっているのでしょうか。財団法人の運営は理事会と評議員会で完結します。総会と言う組織は規定されていません。

社団法人の同窓会の定款をみてみますと総会、評議員会及び理事会有り、総会は最高決定機関であり、評議員会は学年代表で構成されています。公式の総会はずいぶん時間がかかると、あとはパーティーが必要なので、あとが普通です。ある地方都市の県立高校の社団法人化された同窓会の総会を例に見てみますと、里帰りする同窓生の都合も考慮してお盆休み期間で開催されています。毎年交替で、ある学年が担当し開催のお世話をしています。パーティーは事前にチケットを割当販売しています。そこに開催は懐かしい顔に会うことが出来ます。また、地元で家業を継いでいる人にとっては商売のきっかけを掴むことも出来るようです。普通、同窓会の懇親会を含めた総会とは法人化されていようが、任意団体であろうとその組織体の本来的存在理由の中でも最重要な活動と言えましょう。同窓会としての私達の、松桜会“にとつても、総会”は同じ位置づけにあります。(文責 阿部長太郎 駒6-1)

学園祭のお知らせ

- 9月23日(土)、9月24日(日)
- 1階第2会議室
- ◎展示～伝統文化の分野から～
歌舞伎絵 鳥居清光氏(駒8-7)
(鳥居派9代目)
手描友禅染 春木弘雄氏
(駒18-2)
- 作家に説明をお願いしてあります。
- ◎休憩所 湯茶接待
尚、総会のスナップ写真(講演会・懇親会等)を掲示いたします。

桐島洋子氏講演から
— 現在・過去・未来 —



桐島でございます。私は駒場高
校のノットリアスな生徒として、
母校にきてもらって話をす
る日がくるなんて夢にも思っ
ていませんでした。

私はこのころ「林住期」とい
う言葉を旗印にしており、「私も
いま林住期でございます」とい
ったことと「ええ、縁起でも
ない」といふおっしゃるん
です。林住期というのは、例のこ
臨終でございます。臨終ではな
く、人生の秋のことなんです。
これはインドのヒンズー教から
きたことばです。インドは日本
のような四季がない国ですから、
それだからこそ、というか、人
生は季節感を重んじ、人生を春夏秋冬
の四つの季節にわけられています。
春の部分は「学生期」がくし
うきといひ、勉強したり修行し
たりする時期です。つまり私には
駒場高校が学生期だったわけ
です。あまた勉強はしませんでした
けど...

学問を終えて、人生の夏の部分
は夏期と申します。これは職
業に励んだり、家庭を築いたり子
供を育てたりする人生、一番みず
くの大切な季節なんです。
ここで一生懸命働いて、家庭的
なあるいは社会的なつとめを果た
したところで、やっといふぶん涼
しい風が吹いてきて、秋の「林住
期」に変わります。林に住むと書
きます。

はつとひと思ったところで、あ
らためて自分自身の人生を向き
直って生きる意味をしみじみと考
え直したり、自然に心をひたした
り芸術を楽しむなり、そういうゆ
とりを持つのが林住期です。
人生の秋なじいいますと日本
では昔からさびしい、わびしいイ
メージが浮かび上がってきます。
けれど、本当の秋はそうはいけ
ないんです。本当の秋はうきうき
の季節なんです。つまり、これ
まで一生懸命やってきた果実を味
わおうという一番楽しい季節な
んです。

ここで美味くくれた人生の果
実を十分に味わいつくせば、あ
はもう心残りなく波々と枯れつ
くした冬を迎えられます。冬は「遊
行期」(ゆきよき)と申します。
これは別に遊びに行くというの
ではなく、インドに死の準備の季節
なんです。インドに行きますと、
道端に老人が座っております。も
うポロポロの衣をまとって、はだ

してひげもじゃで浮浪者じか見
えないのですけれども、よく見る
と大変立派な顔立ちをしている人
が多いんです。「インドの浮浪
者」ってどうしてこう人相がいいの
かしらというましたら、インド
人にしかられました。「とんでも
ありません。あの方は浮浪者では
なくて、かつては銀行の頭取だっ
たり、大学の教授だった方々の方
も遊行期に至ると、地位やお金、
家族まですべてを捨て、一介の修行僧
になつて聖地を巡業したりするの
です。まあ、それはごく一部
の信仰の篤い方々でしょうけれ
ども、それが理想の遊行期の過
し方らしいのです。本当にそう
やってすべてを洗い流し、すが
がし、西行法師のいう、うらう
らと死なんぞするという心境で土に
戻ることができれば人生の理想と
いうわけです。

私はそういうわけで、いまや人
生の林住期でございます。何年前か、
生れ五十歳になったとき、一
番下の子供が高校卒業して大学
に行き、そこで親業から解放され
ました。
私もまあいろいろとつづつぱって

桐島洋子展
— 凝縮された時間の結晶作用 —
日 時 8月14日～9月29日
11:00～19:00
日 時 13:00～19:00
日 時 11:00～19:00
日 時 13:00～19:00
場 所 日動火災コミュニティプラザ
銀座 日動キュリオ
電 話 03-3289-7213・3149



生きてきましたけれど、本当にも
う薄氷の思いだったわけですよ。
未婚の母だとかそれはいい
ですけど、うっかりうちの子
供が不良になったりしたら、それ
になりまして。だからもう気が
がじやなかつたんですけれど、
どうやら事もなく終わることがで
きました。本当にうれしくて、そ
のお祝いに子育て卒業大旅行をい
たし、これでエンジンンを切りまし
た。

これ以上あくせく働くことはな
い、あとはもうゆつくりエンジン
のない風と気流だけに身を任せて
飛ぶグライダーのように、自然に
まかせてゆるやかに生きていく
と思いたし、といっているんです
けれど、ひところから比べればと
んど働かないような生活をしてお
りまして。一年の三分の一はカナダに
あ

る家で、晴耕雨読の生活をしてお
ります。カナダに行きますと自然
の中でゆったり暮らして、ま
さに林住期なんです。
私個人もさることながら、いま
や日本も林住期の時代ではないか
高度成長もともかく、稼げ働けと
いう家任期はずき、もう林住期と
しての暮らし方を身につけてい
くかと思いたいと思います。日本ど
ころか世界、地球もいまや林住期
だともうなすね。
というわけで個人的な意味では
じまった林住期ということばはあ
はいいろいろいな意味で用い、私
らゆることに林住期をテーマにし
ているわけです。(後略)

(文責) 羽鳥

追悼

稲垣先生を偲ぶついで

四月二十二日、昨年十一月に逝
去なさいました稲垣保民先生を偲
ぶついでに名古屋で催された、戦前
から戦後にかけての約百年の戦
子らが集まりました。第二高女
駒場高校の卒業生は名古屋、東
京から九名が参加しました。
五十年前のややウエーブの
奥の長い髪、度の強い眼鏡の
奥の優しいまなこ、長身の背を
前(こ)みにして、左手に教科書
を、右手を腰にあてられた授業が
思い出されます。情熱的なロマン
チスト、古武士のようなお人柄で
真摯に一人一人の生徒に向き合っ
て下さいました。
四十一回卒業生の戦後初の学年
会で、戦争中の教育理念のあやま
ちを謝罪された由、御結婚当初か
ら僕は校長にはならない。生涯
一教師として専らに一生懸命
生徒を導き、可愛がっていきま
しとおっしゃって実践されました。
た。御郷里里親の約三十年、
行いに愛知県高等学校教職員組合
執行委員長としての五年間は民主教
育を前進させるリーダーとして不
滅の足跡を残されました。
御家庭では一人息子の登史ちゃ
んを幼くして亡くされ、優しい奥
様と懇め合い、励まし合って五十
五年間を過ごされました。
偲ぶついでには年代、学校、地
域の異なる百人の教え子や同僚の

先生方が、奥様をかこんで、先生
との日々を懐かしみ、先生の一言
の一言を想い、先生のお人柄その
もの心暖まる半日を過ごして御冥福
を祈りました。(駒2 和田正江)

竹村先生を偲んで

私が竹村先生をはじめたお会い
したのは、昭和32年4月、駒場高
校保健体育科に入社したときで
した。唯だ、陸上競技を思い切り
やりたい一心から目指した道でし
た。当時の先生は上級生やOBの
方々からオヤジ、オヤジと呼ば
れていましたので、新入生の頃は
先生がかなりのご心配だと思っ
てました。見た目は元氣ハツラ
ツ大変お若、感心したものでした。
そのイメージは何年たっても変わ
ることなく、いつの間にかオヤ
ジの愛称とともに「百年青年」と
も言われるようになっていまし
た。

私には駒場を卒業後、教育大学か
ら教職の道に入り、先生が駒場を
ご退職の折には任事との一言
で母校への赴任となりました。二
十二年間の在職中、先生はいつも
陰から温かい励ましをして下さ
りました。先生の陸上競技への情
熱、とりわけ駒場高校陸上部への
思い入れは格別なものでした。日
頃は穏やかで物静かな先生がひと
度、競技場に入ると一変して厳し
い眼差しとなり、審判に選手指導
に当たられたことを今も忘れな
くはできません。先生には、多く
のことを教えられるました。「鉄は

熱いうちに打て」とのことばを引
用し、若いときの苦労、努力を
熱く語り語るお姿は特に印象
的でした。残念な思いは残ります
が安らかに休息して下さいませ。
(駒12 平島 潤)

桑久保味恵子先生(保民科)
平成7年7月29日
現職でかたがた病氣療養中の所述
去されました。御葬儀の際、所遊
で卒業させた教員の方が、用辞
を駆け回りました。これを以て追
悼の心いたしました。
甲 辞 友安秀徳(駒45) /
先生、やつと会えませんでした。
俺まだ実感かないよ。
先生、約束したじやないです
か。一緒に飲みにいったり話した
り、そして将来俺が結婚する時、
絶対に出席してくれるって。
俺今まで先生に迷惑かけたらん
で、お世話になりつらかったです
で、これが、これから恩返しし
ていこうと思つたのよ。
先生、今度俺が会った先生の
涙の言葉、俺、今までのあの時
の涙と違って、今までの俺が
先生、先生がいきなりあんな
か、今の俺はあんなに
先生は今度俺が会った先生の
中で、最高の先生です。
だから、俺、先生が俺の為に
言ってくれたこと、してくださ
ったこと、絶対に忘れません。これ
からがんばります。前に進んでい

清水勝太郎先生(社会科)
平成7年7月29日
謹んで御冥福をお祈り申し上げ
ます。

イベント情報

ロシアバレエ コンサート
前号でお知らせしましたが、形
式が少し変わりましたので、あらま
しを改めて御紹介します。
ヴィハレフ・セレクションズ
セルゲイ・ヴィハレフ/企画・
主演・監督
ロシアを代表するステージン
の協力をより初めに実現する
「新感覚バレエ・コンサート」
日時 Aプロ アンティークテイ
9月23日(土)18時開演
25日(日)18時開演
Bプロ
9月24日(日)14時30分開演
24日(日)18時開演
場所 アートスタジオA(品川区

戦後五〇年記念出版の
「号外」戦後史
朝日新聞、TBSでも報道され
ましたが、監修・羽鳥知之さん
(駒6)3が収集所蔵するけふ正
午に重大放送という一九四五年
八月十五日の戦報から号外から
今年、阪神大震災、オウム事
件までの新聞号外約八百四十点
を収録した、「号外戦後史」が、大
空社から出版されました。
敗戦、下山事件、朝鮮戦争、六
〇年安保、アポロ月面着陸、ロッ
キード事件、天皇崩御、湾岸戦争
など戦後の日本を震動させた事
件、国民を歓喜させた出来事、世
界でユニークな、その第一報を号
外で検証した興味深い縮刷版で、
同時代を生きた人々の鮮烈で稀有
な戦後史が記録されています。A
3判・三巻セットで計二百九十
ページの大冊で定価六万円です
が、松桜会にお申込みになれば、
二割引の四万八千円(送料込)で
入手できます。

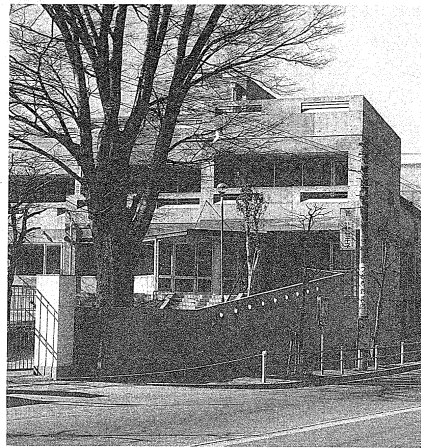
天王洲(イール)
料金 S席800円、A席600円、B
席300円(学生席) Sボックス・ベ
アシート15000円、Aボックス・
ベアシート22000円
お問い合わせ T・T・プロ
ジェクト代表
平井淳子(駒24)E
TEL・FAX 03-3713-1692
勤務先 G・M・T
TEL 03-403-3101

駒場幼稚園

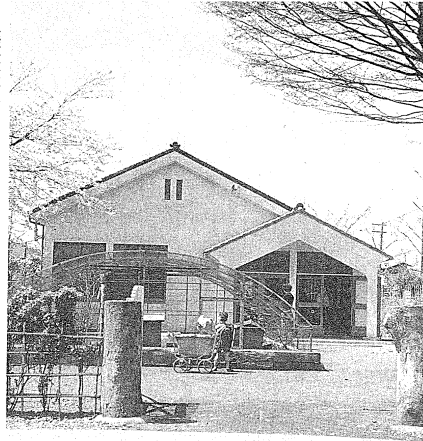
歴史と現況そして今後

母校駒場幼稚園に隣接する駒場幼稚園は、昭和30年(55)5月駒場松桜会により設立されました。幼児の恩恵と行動の自主性の涵養を重点方針の保育活動が園児の父母の賛同を受け、また、鹿野京子前園長(32)南始め関係者の方々の熱意ある努力が駒場幼稚園の発展に寄与してきました。今年3月末をもって、鹿野前園長が勇退されました。この度9月1日付で向山陽子氏を新園長に迎えることになりました。また、学校法人の経営を司る理事会メンバーの大輪な変更がありました。前園長退任後8月までは永年母校の英語教育に携わられた小川碧氏(駒3と2)に中継ぎの園長の務をとっていただきました。私共の大先輩時代の駒場松桜会が創設した駒場幼稚園の歴史を振り返り、今後の存続につき皆様のご支援をいただきます。駒場幼稚園につきレポートいたします。

まず、駒場幼稚園の歴史に触れますと、前述の様に財団法人駒場松桜会による設立、昭和30年(55)5月開園されました。ご記憶の方もありませんが、当時母校は木造兵舎を改造した校舎でありました。駒場幼稚園も隣接の国有地と同じ兵舎を国より借り受け、応急に園舎として改造して使用しました。翌年(56)9月には学校法人の認可を当りました。認可に当たり「1ヵ月以内に国より土地建物を買取る」の1項が明記されていまい資金的に問題となりましたが、当局との折衝で、借り受けという形で経過してまいりました。その後園舎の老朽化が進み、建て替える必要になり、昭和47年(72)末に園との間に売買契約が成り、駒場幼稚園の存続を許ること



現 園 舎



設立当時の園舎

になりました。理事長には藤井チズ子氏(駒3-5)就任。新理事長は大学では児童学科を卒業し、NHKの教育番組の制作を長年担当、定年退職後はフリーな立場で児童教育関連の仕事をしておられる方です。理事には、7人のお子様を駒場幼稚園に通園させた築島詩氏、元母校校長の細野重陽氏、NHKのこどもの歌の作詩、こどもの遊び研究者であり、幼児雑誌のコラム執筆者の鈴木みゆき氏と有力な学識経験者ばかりで、賢沢な陣容です。それにより今まで通り松桜会からの理事として、中江千恵(駒4-13)、中島稔(駒6-2)の両氏が就任しています。

園長の向山陽子氏は直前までは保育専門学校の講師や心理相談研究会で活躍され、以前オランダ在住中は日本人幼稚園に勤務するかわら、在蘭日本人母子のための日本語文庫、オランダでの出版、育児をサポートするサークルを開発し、指導された経験の持ち主です。勿論、園内の幼稚園の教諭のキャリアもあり、子供に好かれる元氣印のまだ40才の園長さんです。子供人口の減少している都市での幼稚園経営はなかなか大変なものがありますが、学校法人の場合ご承知の様に専任になりまして、その財源はほぼ学校法人が、認可権のある都に無償譲渡されることになりました。その意味で、松桜会により設立された学校法人駒場幼稚園の存続

を多くの松桜会会員の方々は願うのではないかと拝察します。日本の教育は幼稚園から大学まで企業なり官公庁など組織に属している間はなにがしかの教育の機会があります。しかし、定年退職者や家庭の奥さん方はほとんど忘れられがちになります。かたや、生涯学習が喧伝される今日です。駒場幼稚園の存在意義を少し広げて見ることは出来ないものでしょうか。地域の老人クラブとは一味ちがった知的クラブとしての

場を提供するとか、また、高学歴、社会経験のある園児の母親達に活躍の場をどう与える事が出来るかなどが魅力ある幼稚園経営であり、また生き残り戦略の一つかもしれないと考えます。最後に松桜会会員の方々へお願いとして、通園可能な子供さんやお孫さんをお持ちの方はぜひ新たに出発する駒場幼稚園へのご支援をいただければ幸いです。駒場幼稚園を支援する「勝手連」的運動が同窓生の中から出てくれれば良いのだと思います。このレポートを終わります。(文責阿部)



駒場幼稚園理事長 藤井チズ子 (駒3-5)

いま、さまざまな幼児教育が行われています。幼稚園、保育所その他、2歳児からの水泳や幼児教室、ペビシティーも兼ねる育児教室などに通う幼い子供が増えています。こうした現状の中で、幼稚園は、以前にも増して就学前の幼児にとって大切な教育機関となっていると思います。幼稚園は、心もからだも発達若しいのですが、何よりも子ども自身を育てることが一番大切な時期です。3歳児の頃は、何でも自分でやってみようという意欲や自立心が芽生え、外で遊びたい、友達と遊びたいなど家庭以外のものへと向かう時期です。幸い、駒場幼稚園には幼児が安心して遊べる教育環境として、子供たちが思い切り自由に遊ぶ空間があります。広い教室や園庭、屋上に作られた田んぼや苗床など、都会生活では得られない空間や自然が豊富にあります。子どもたちは自然の中で、友達と遊ぶ、協力して作業をするなど、自然とのれ合いや人と人の関わりの中で、子ども自身が考え行動する力がついでいます。駒場幼稚園ではひとりひとりの子ども個性を見守り、伝統ある手作りの保育、自主性を育てる保育を重点をおき、大切に考えてまいります。



初代古賀園長



現在の園児達

思考と行動の自主性の育成
学校法人
駒場幼稚園
— 都立駒場高等学校附設により昭和30年設立 —
長組 (5才児)
年中組 (4才児)
年少組 (3才児)
入園随時
井の頭線駒場大前下車5分(バス見取上)下車2分
目黒区大橋2-18-71 ☎3466-2959

Q 1びつたりの印象の方ですが何故幼児教育を専攻されたのか。 A 高校3年の頃将来何をしたいかを持つていない自分に気がつき懸命に考えましたが「人間に興味のあること」が結論でした。当時入園学を掲唱していたお茶の水大児童学科を選び面白い教授陣と出会ったことがきっかけです。



向山陽子園長

新園長にインタビュー!

その後幼児教育に関わって20年あまりがすぎました。夫の転勤にもないオランダに行く機会を得、オランダでも乳幼児さらにはオランダで出産する若い方々にまで関わる結果となり、帰国後人生の後半に臨む幼児教育に生かせる覚悟をした次第です。由緒ある駒場幼稚園という場を与えていただき、あ

りがなく光栄に思っております。Q 海外でも経験がありとうかがいましたが日本との違いは。 A オランダの人々は家庭を人生の基礎を築く上で大切な場と捉えています。地域、家庭には豊かな育児力があるように思います。17世紀の最盛期を過ぎ小国故のさまざまな体験の中で、「人間」として何が一番大切か生活の隅々に沁み渡っているように感じました。緑と水と空、暖かな家庭、子どもには遊び、5才から義務教育がはじまります。4才の幼稚園は親の選択に任せており、昼食は家へ帰って食べたいこと、運動・美術音楽関係などは学校ではなく地域(美術館や音楽学校、プール、教習所)で行います。その中で水泳、教習所は運河の周りに4才から幼稚園のカリキュラムに入っています。娘は小学校のほとんどをオランダで過ごしました。一人一人が個人として育ち他の人と比

べる事をしません。楽しむための努力はありますが評価される事は念頭にはありません。帰国してびつくりしたのは日本の子どもに対する価値観の狭さでした。勉強もおけいこもスポーツもより上をいこうとする苦行であり、楽しんでいないと見受けられます。娘は帰国後一年半を日本の小学校で過ごし卒業の時日本の学校には「Just do it and be happy」と言いました。Q 2「家族、ご趣味、お好きなこと」は。 A 1「家族、夫、娘1人 趣味、書、朗読」 好きな言葉「内側は外側より大きくいんだよ」(C.S.ルイス、ナルニア国物語より) 「自然と適当な貧乏と母の愛で子どもは育つ」(二出典?) Q 3「その他ご自由」 A 1「今とても自由に育つ事は、地域家庭の子育て能力です。子育てを考へることにサポートできたらと

松桜会コンサート グループCOM CONCERT "アンサンブルの愉しみ"

- M. Ravel 水の戯れ 他 河上素子
G. Pierné 演奏会用独奏曲 作品35 渡辺さつき 今井眞理子
S. Sulek ソナタ ガブリエルの声 村田厚生 今井眞理子
J. S. Bach 無伴奏ハルティータ第2番よりジャコンヌ 宮里咲枝
安藤山由樹 パレエ組曲「レ・フルール」より 他 安藤山由樹
G. Bizet 「カルメン」よりハバネラ 他 山口栄美 後藤史子
J. Strauss 2つのワルツウィーンの森の物語 他 河村忍 南部知代
G. Holst 「惑星」より木星/快楽の神 津田ひな子 小石恵子

1995年10月14日(土) 午後4時開演 ごまばエミナスホール
入場料 全席自由¥3,000 (一般) ¥1,500 (小・中・高生)
お申込みは 毎週日曜日午前10時~午後4時 TEL 03-3466-7579
主催 (財)駒場松桜会

お子様連れでお気軽にお出かけ下さい。
コンサートを機会に、ミニクラスなどのお集まりは如何でしょうか。

小尾雄先生が米寿を迎えられたので、7月26日、三水会とゆかりの人達30数名が集まり、横浜でなごやかなお祝いの会を開きました。小尾先生は伊豆高原から元気なお顔をお見せ下さり、一同60年も昔の思い出、大学を卒業した時のフレッシュな先生をお迎えした時の感激など話はずみ、笑い声の絶えない和やかな会となりました。小尾先生は昭和9年より15年まで高等科を主に、国語・漢

小尾先生 米寿を祝して



物語、万葉集、論語、唐詩選等、先生の古典のお講義は皆の人気の的でした。その後、先生は長く教育界に御活躍されましたが、昭和42年、都の教育を辞された時、又先生のお講義と願う人達が集まって、月一回の万葉集の勉強会として三水会が発足しました。先

生は学校時代と同じ様に質問してさされるので、皆一生懸命でした。万葉について徒然草、歎異抄など10年程お教えたいただきましたが、先生も多忙ななか、静嘉堂文庫長の米山寅太郎先生を御紹介下さり、以後20年近く中国古典のお講義をしていただき今まで続いております。会員も70代となり、お互い髪が白くなりましたが、同じ第三高女に学んだ仲間が、一回の漢文の勉強は楽しいものです。小尾先生は益々元気に次の卒寿をお祝いは、伊豆高原で2年後を楽しみにしてお別れ致しました。(34中、高18西 藤原明子)

学年会だより

卒業50周年を記念して

第三高女42回生学年会を京王プラザで開催しました。時は七月七日。この会と併行して企画した、記念誌発行に關しての詳細な説明を含む開会の辞(渡邊様)に始まり、ここに参集した118名及び出席されなかった友の幸せと、世界平和への祈りをこめて渡辺様御発声による乾杯。その後、歓迎と食事とにたづなり時間をとりました。また旧アルバムから(渡邊、宮部様により)先生方や遠足、農園作業などがスクリーン映し出されると気分はすっくりに年前、更に江端、猪俣、大塚様の御協力のもと、合唱曲集から数曲と校歌を歌って完全に誇り高い第三の生徒になりました。最後に多額の御参加を感謝し、また再会を期する旨の開会の辞采田様で終了。

前号の特集に寄せて

第三高女の歴史より一を拝見致しまして、同じ年代に居りまして一人として大変懐かし、何回も読ませて頂きました。

会員の声

- (45西 嶋村孝子様) 〇42回生の方々の、麻布最後の卒業式の記事は、心から感慨深く読ませていただきました。
(31南 西尾ハル様) 〇麻布最後の卒業式と同時に卒業の41回生のひとりとして感慨深く拝見しました。
(41南 高瀬美保子様) 相前後する年代の方々からの反響が、払込用紙により寄せられました。同窓生の交流の一つの形として、随時掲載させていただきます。
(30西 村田久枝様) 〇麻布最後の卒業式、胸つまる思いで読ませて頂きました。
(39南 持田久枝様) 〇42回生の方々の手記、私共と11年しか違いませんの……感慨深く読ませて頂きました。
(31南 西尾ハル様) 〇麻布最後の卒業式と同時に卒業の41回生のひとりとして感慨深く拝見しました。

Table with columns for university names and enrollment numbers for various years (H3.3, 4.3, 5.3, 6.3, 7.3).

Table with columns for university names and enrollment numbers for various years (H3.3, 4.3, 5.3, 6.3, 7.3).

Table with columns for university names and enrollment numbers for various years (H3.3, 4.3, 5.3, 6.3, 7.3).

収支報告

Income Statement Table with columns for '94年度予算', '94年度決算', '増・減', and '95年度予算'.

Expense Statement Table with columns for '94年度予算', '94年度決算', '増・減', and '95年度予算'.

諸証拠書類と帳簿照合の結果、収支とも正確に執行されていることを証明します。

1995年6月8日

監事 土田敏裕 宮崎玲子

'95年度事業計画

- 1. 松桜会総会開催一講演会及び桐島氏を囲む懇親会
5月20日(土)講演 桐島洋子(桐8)
母校視聴覚室・会議室
母校校舎
生徒会への助成 総会にて生徒会へ贈呈
生徒会への助成 総会にて生徒会へ贈呈
2. 母校学園祭 9月23日(土)秋分の日・24日(日)
海外在住卒業生生活状況展及び休所開設
展示及び休所設備
3. 音楽会 10月14日(土) ごまばエミナスホール
松桜会コンサート アンサンブルの愉しみ
出演 グループCOM
4. 松桜会会報発行
平成7年9月(57号)及び平成8年3月(58号)

'94年度事業報告

- 1. 松桜会総会開催一仰光寮お花見会一
4月3日(日) 母校会議室及び仰光寮
生徒会への助成 総会にて生徒会へ贈呈
2. 母校学園祭 9月23日(金)・24日(土)
海外在住卒業生生活状況展及び休所開設
3. 音楽会及び出演者を囲む会
10月15日(土)於ごまばエミナスホール、
松桜会コンサート一歌曲への誘い一
大月早苗・羽島崇・鈴木良昭
5. 松桜会会報発行
平成6年9月(55号)及び平成7年3月(56号)

平成七年度教員異動

退職 国語 宿谷晃司先生
 生物 小林祥男先生
 生物 竹早高校嘱託へ
 保体 山崎和彦先生
 文京高校嘱託へ
 政経(嘱託) 萩原文夫先生
 萩原文夫先生
 転出 羽野幸春先生
 日比谷高校へ
 転入 倫理 花輪紅一郎先生
 高島高校より
 倫理 石川哲夫先生
 生物 南野高校より

事務局より

◎東館への移転と共に、諸設備が少しずつ充実し、名簿管理も行うことになりました。いろいろなお問い合わせにも、よりスピーディーにお答えできますし、同期会、クラス会等でネームシールを取り出すことも可能です。実費で御利用いただけますので、お早目にお知らせ下さい。

◎振替用紙の様式が変わり、通信欄が小さくなりましたが、御意見その他どうぞお寄せ下さい。事務局は移転しましたが、電話番号及びファックスは従来通りです。ので、あわせて御利用下さい。



母校の催し

☆学校説明会

10月7日(土) 2時より
 11月4日(土) 2時より

☆校舎竣工記念

平成8年3月で外構工事も終了しますので、記念の催しが次のように行われます。

11月28日(火)式典及び祝賀会

◎仰光寮、テレビで放映

7月14日、東急ケーブルテレビで仰光寮が紹介された。関春美さん(駒38)の取材を受け、小杉明子さん(33卒)、吉田富美枝さん(43西)が、麻布時代の思い出、戦争火から必死で守った話等、緑の中で威風凛々として映し出された仰光寮の中の語らひだった。

前号の、鈴木前東京都知事に皆様の署名を持って陳情に行った記事を読んで、関さんが企画をたてられた由。尚、この番組のビデオテープは事務局にあり、貸し出しもいたします。

阪神大震災に関して

左記の方からお便りがございました。

田中静枝様	34南
長谷川妙子様	36東
居谷純子様	40東
青山恭子様	40東
西田裕子様	胸9/8

尚、関西支部へのお見舞いに対し、樽井弥栄支部長より、御丁寧なお礼状をいただきました。今も多くの方々が御不自由、御不便のこと、改めて御見舞いを申し上げます。

第三高女の焼跡にて

その二

小林恒子(24東)

(第35号より続)
 ……あれはまだ戦争が勇ましい軍艦マーチを前線にしていた次から次と勝ち戦を伝えていた頃か、或る勤労奉仕の日のことであった。二年以上の上級生連は、それぞれ割り当てられた校外の奉仕場所である。被服廠、砲兵工廠、理研、大蔵省印刷局などへ出かけて行ったが、一年生は珍しく神宮外苑や宮城の草むしりにも行かず、留守役ということになった。そこで、一年生には何をさせようかというわけ、誰の提案なのか、当日は一人一人に家から金槌を持参させ、池田先生が指導をして、廊

コチロン練習会へのお勧め

「コチロン」聞いただけで懐しく高女時代を又高校時代を偲ぶ方と、コチロンって難しいものと思う同窓生がいることと思いますが、現在コチロンは、毎月第三火曜日PM20:40頃まで、母校で練習会を行っております。集まる人は二〇名前後ですが、曲が鳴り出しますと、水を待たぬようにいさいますと動き、一段終ることに思わず拍手がです。今まで御出席の方々はもうベテランで、今は多くの参加者をお待ちしております。久しぶり、又二段までしか授業で習っていない、という方も心配はいりません。ベテラン先輩といっしょに踊っているうち

下の釘叩きをさせた。創立以来四十一年も経っている木造校舎の廊下は、瘦せた老人の四肢のように木目や節が現われ、釘の頭が露出していた。生徒を四列縦隊に整列させて、四人ずつ釘の前に並ばせてから、号令一下、一斉に金槌で叩かれたのだ。まさに壮観!その音響の凄まじかったこと……

私達は思わず耳を覆い、互いに顔を見合わせて苦笑せずにはいられなかった。窮余の一策とは言え、実に滑稽な、だがなかなか振った思い付きの勤労奉仕であった。現代風に言えば、「一年生にとっては絶好のストレス解消だったに違いない。もし漫画にしたら、古ぼけた校舎が身を右に左に振って、「痛いッ、痛いッ、助けてくれエー!」悲鳴をあげている図であろうか……」。

私の耳に満ちていた蟬の声を、その一瞬聴いた金槌の幻聴に変わっていた。初めて微かに涙が滲んだ。所々夏草の茂みが目に付いたので、近寄ってよく見ると、草の中に生徒達の手になるものらしい、虫の喰い放題の貧弱な野菜畑があった。それを囲んで土台石が建物のあった名残りを物語っていた。最も陽当たりの良かった南棟の跡である。山の校庭へ上って行ってみた。此処のみは昔に変わらず、緑蔭深い校の木々から降るような蝉時雨だった。此処にも生徒の姿は無く、焼け残った仰光寮と雨天体操場が見る影もなく佻しく薄汚れて、焼け出された人達が住んでいる様子で、紐に干した洗濯物が風に揺らいでいた。(以下次号に続く)

編集後記

来年の三月に向けて外構工事が大橋の側へと整えられ、仰光寮は建仁寺垣の東館と同様の装いになりました。和洋混在の空間に両翼を広げ、翔び立つ「駒場」母校も同窓会も大きく発展していく期待が寄せられることでしょう。広く深く、そして高い新世紀への未来図を、皆様と共に描いて参りたいと思います。(平山記)